



質問議員	質問事項
①山崎 眞幹	1. やなせたかし記念館とピースフルセレネ 2. グロス香美市ハピネス (香美市に暮らす幸せ感)
②山崎 晃子	1. 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」 (※障害者差別解消法) 2. 家庭児童相談の体制 3. 子どもの医療費無料化 4. 市宇古土居集落へのデマンドバス運行 5. 一般職の非常勤職員及び臨時職員の給料遅配
③甲藤 邦廣	1. 多面的機能支払交付金制度 2. 体育施設の名称
④門脇二三夫	1. 森林・林業振興策 2. 高齢の方や耕作放棄地等への花木導入を
⑤利根 健二	1. 本市におけるブロードバンド通信 2. 文化施設検討委員会
⑥山崎龍太郎	1. 生活困窮者対策事業 2. 納税緩和措置 3. 広報香美、かみかみクイズ

質問議員	質問事項
⑦織田 秀幸	1. 補助金の対応 2. 鳥獣対策の取り組み 3. 防災及び観光振興
⑧比与森光俊	1. コミュニティ・スクール
⑨森田 雄介	1. 青年の雇用対策等 2. 自主防災組織
⑩小松 孝	1. 市営住宅の入居者選考 2. あけぼの街道沿いへ直販店を
⑪濱田百合子	1. 教育委員会制度 2. 中学校の教科書採択 3. 健康づくり 4. あじさいの手入れ
⑫村田 珠美	1. 漫画教室の開校を 2. 高齢者用のパンフレット 3. 中央公民館の利用 4. 交通安全
⑬大岸 眞弓	1. 安全保障法制 2. 自衛隊の募集事務 3. 学校教育と自衛官募集事務との関連 4. マイナンバー制度 5. 市営バスの運行 6. ヒアリング・ループの設置を



ピースフルセレネ

ピースフルセレネは、アンパンマン関連の施設として再出発させることが最も望ましいと考え、以下問う。

問 設置に当たり使用した補助金、事業債、返済状況、目的外使用  
答 平成4年度山村振興農林漁業対策事業を用い、補助裏には過疎対策債を充当。平成17年度に償還済み。目的外使用規定はない。



山崎 眞幹  
(市民クラブ)

佐々木寿幸産業振興課長

規定の有無は。

A 今後の利用状況によっては

Q セレネをショッピングモールに

や「人生はよろこばせごっこ」のやなせ先生の思いにもかなうと考える。見解は。

今田博明副市長

答 現時点では、ショッピングモールとしての活用は考えていないが、今後の利用状況によっては、施設の在り方や方向性について検討する必要がある。

A 連携協議会で  
Q 工科大の知を生かせ

す幸福感)の向上につながるのではと考える。見解は。

山中俊明企画財政課長

答 工科大学の学生を対象とした政策コンペは面白い取り組みだと思いが、総合戦略や振興計画の策定中であり、現時点での実施は難しい。

工科大学に対しては、市独自の補助制度により、学生が行うさまざまな地域活動を支援し

ている。こうした学生の活動は地域に活力を与え、地域のGkHの向上につながっていると考えている。  
本年度からは、全大を学対象とした新たな補助制度も設けており、こうした補助制度を活用し、学生自ら取り組んでいたことは可能である。  
また、提案については、市と工科大学との連携協議会の中で協議していきたい。



高知工科大学

問 工科大学生を対象とした政策コンペを行い、大学・学生の知恵を戦略・計画に取り入れ、課題解決等に取り組むことは、本市の掲げる「進化する自然共生文化都市」の実現に向け有効であり、GkH(グロス香美市ハピネス 香美市に暮ら

議会に対するご意見、ご要望は議会事務局までご連絡ください

〒782-8501 高知県香美市土佐山田町宝町1丁目2番1号  
TEL 0887 (53) 1093 / FAX 0887 (53) 3233  
メール gikai@city.kami.lg.jp

### Q 臨時職員の給与遅配!

#### A 深く反省している



山崎 晃子  
(日本共産党とくらしと福祉を守る会)

識で判断したことによるものであり、深く反省している。

遅配したことは、臨時職員等に関する「規則」に抵触しないか。

一般職の非常勤職員及び臨時職員の給与遅配問題に関して問う。

遅配の原因は「単純な事務的ミス」なのか「予想し得なかった事態」が発生したのか。

山崎泰広総務課長

遅配の原因は「香美市一般職の非常勤の任用、勤務条件等に関する規則」及び「香美市臨時的任用職員の任用、勤務条件等に関する規則」と労働基準法を混同し、支払日を動かせるものと誤った認識

市民の信頼回復が重要である。二度と繰り返さない体制の確立等、組織としての見直しが必要では。

法光院晶一市長

遅配についておわび申し上げるとともに、原因について掘り下げ、規則等の検討を行う。

### Q 家庭児童相談体制は

#### A 体制強化を検討

全国的に児童虐待等が増加傾向にある。本市の家庭児童相談の体制について問う。

全国的に児童虐待等が増加傾向にある。本市の家庭児童相談の体制について問う。

過去5年間の相談件数は。

西本恭久福祉事務所長

平成22年度525件、以降684件、914件、1241件、平成26年度は1248

件となっている。件数には、情報提供数を含んでいる。

相談の増加や複雑化してきた内容に対応するためには、相談体制の「見直し・強化」が必要では。

昨年度の体制に非常勤職員の看護師を1名増員し、4名でケースに当たっているが、非常勤職員では対応できない事例もある。兼任で業務していた正職員の保健師を要保護児童対策専任とし、体制強化を図ることを検討している。

また、支援システムを導入予定なので、事務軽減が図られ、本来の業務に専念することができるとのこと。



福祉事務所の窓口

### Q 多面的機能支払交付金制度

#### A 次年度予算の要望をする



甲藤 邦廣  
(市民クラブ)

積極的にこの制度のPRに努めてきている。以下問う。

本市における平成26年度の組織数、平成27年度の新規申請見込み数は。

佐々木幸産業振興課長

国は平成26年6月に多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支援について法律を制定し、

平成26年度の9組織に加え、平成27年度



未整備の水路

**問** 新規は8組織で合計17組織となる見込みである。  
**答** 今年度の要望額に對して、国・県の配分額は。  
**問** 今年度の要望額に對し、配分額は1419万2千円である。

**問** 10ヶ町当たり9200円の要望額に對し、3千円の配分であるが、来年度は今年度並みの要望額を考えているか。  
**答** 本年度の減額配分は考慮せず、面積増の要望も含め次年度予算の要望をしていく。

**Q** 名称変えてみんなのものに  
**A** 検討する

**問** 宝町体育館、宝町グラウンド、宝町テニスコートの名称変更について以下問う。  
**答** 直近の3年間の利用状況は。

久保和昭生涯学習振興課長

**答** 宝町体育館は改築前は、空手・卓球・体操・バドミントンなど15団体が定期的に利用。改築後は、19団体に増えている。

**宝町グラウンド**は土日・祝日に少年野球チームの練習と試合会場や、福祉団体の体育活動に利用されている。

**宝町テニスコート**は体育協会所属のテニス団体やテニス愛好者が定期的に利用。

**宝町テニスコート**、昨



宝町テニスコート

年度改築された宝町体育館の名称の変更は。  
**答** 老朽化により、この3施設を順次改築・改修工事を実施している。

**Q** 林業振興のため  
**A** 間伐の推進を図る



佐々木幸産業振興課長

**答** 平成27年度の林業振興費は約1億5300万円を越す予算を計上している。

作業路、間伐等の森

**問** 山林所有者の方は、材価の低落から山林の手入れができておらず、間伐も進んでいない。農林中金では10億円

の基金を設立し、作業道の開設等への助成をすることとしている。森林作業の効率のため、本市にある2森林組合に、この制度導入について働き掛けるべきでないか。

また、間伐を進めるためには、陰樹であるサカキ栽培を行い、収入を確保することも考える必要があるのでは。

林整備事業を主としており、森林組合から要望された森林施業計画に基づき満額を予算化している。2つの森林組合で、おのおの森林整備への取り組みは異なっているが、作業の効率化は十分図られていると考える。

林産物であるサカキについては、間伐が行われ、サカキが自生している林地を採取対象とし、その搬出方法や市場への販売方法を市農政部会で研究している。市内には多くの自生地があり、林業の副

産物として集落活動の中で取り組んでいければと考えている。

林地内に日が射すことが必須条件であることから、今後も間伐の推進を図っていく。

**Q** 耕作放棄地に花木を

**A** 特産物育成事業で

**問** 山間地で、平成7年から国有林の払い下げを受け、切り花の採取を行っていたが、採取量は年々減少。このため、挿木や所有林に自生する花木類を畑に定植してきた。

そして、昨年から高齢者の方や耕作放棄地に花木類を導入できないか、関係機関で検討し5品目を決めた。これらを中山間地域に生産拡大する考えはないか。

佐々木寿幸産業振興課長

**答** 市が特定の品種を決め、その普及・拡大を図っていくことは、技術的な裏付けができません、またそれに伴う農家のリスクも考慮すると困難である。農業者等が組織する団体に対する特産物育



ナナカマドの木

成事業として、地域活性化総合補助金の中で新規種苗導入事業を設けている。これは特産物として一定の供給が期待できるもので、新規種苗に対する補助事業であり、実施にあたっては物部支所へ協議をお願いしたい。

**Q** 光ケーブル延伸は  
**A** 通信事業者と共に



利根 健二 (市民クラブ)

**問** 今年、光ケーブルが延伸した。今後さらなる延伸を望み以下問う。現在の加入者数は想定に対してどうか。

横山和彦まちづくり推進課長

**答** 4月末時点の加入状況は、開通待ちを合わせて、美良布局内が466件、大桁局内が132件、繁藤局内が17件で、サービス開始から2カ月で目標の約66%となっている。

**問** 市民の反応は。  
**答** 加入された方から、直接意見や感想が寄せ

られた事例はないが、速度や安定性については、おおむね満足いただいているものと考えている。

**問** 未整備地域に対して、今後の対応は。

**答** 通信事業者に対しては、引き続き企業努力による整備の拡大をお願いしている。

**問** 携帯・スマホ系において高速な通信規格である4Gでつながるエリアが、本市にはまだまだ少ない。エリア拡大の要請は。

**答** サービスエリア外地域の調査結果について、県を通じて通信事業者と情報共有することにより、エリア拡大に取り組んでいただいている。

※ 4G = 第4世代移動通信システムの略 (Gの数字が上がるほど高速)

ドコモで言えば、FOMAは3Gであり、現在のLTEは3.9Gと言われている。

2015年5月31日時点では、4G (PREMIUM 4G) は高知県では、高知市・南国市・香美市 (土佐山田町)・安芸市・須崎市の一部でのみ開通。

**Q** 文化施設の  
**A** 報告書をホームページに掲載

報告書をホームページに掲載

**問** ホール関係(舞台系)の委員が1名も入っていないのはなぜか。

久保和昭生涯学習振興課長

**答** 文化協会・公民館・吹奏楽部関係の委員4名において対応した。



香南市の文化ホール

**問** 状況を知っている委員がいない中で、ホールに対する課題を検討するのは無理である。こういった手段でホールに関する課題を検証したのか。

**答** 市内のホールを有する施設の状況と近隣市ホールの状況を建設費・年間維持管理費等を資料に検討した。

**問** パブリックコメントの数・内容は、

**答** 6件で内5件は文化ホールの建設に関する内容で、他1件は図書館に関する内容である。

**問** ホームページ上で香美市文化施設等検討委員会の記述が無くなっている。パブリックコメントの結果も合わせて載せるべきでは。

**答** 今回はパブリックコメント募集の目的であったため、公募期間中のみ閲覧設定とした。今後、検討資料と併せ報告書をホームページ上に掲載する。

**問** 生活困窮者自立支援法の趣旨にのっとり、生活相談センター香美を立ち上げ業務を行っている。以下問う。

**問** 相談体制は、

**西本恭久福祉事務所長**

**答** 香美市社会福祉協議会内に生活相談課を新設「生活相談センター香美」として、課長以下5名で相談に応じている。

**問** 相談状況及び所管課との情報共有は、

**答** 4月開設以降、新規相談は5件。社協と



生活相談センター香美

**Q 相談支援 連携して**

**A 案件発生時に実施**

福祉事務所で2カ月に1回程度の割合で連携協議を実施する。

**問** 相談者の支援プランの協議、決定には支援調整会議体制を早急に整える必要がある。見解は。

**答** 必要であると認識している。

**問** 支援には関係各課が横のつながりを持つための対応が必要となる。庁内連絡会の設置を。

**答** 現在庁内連絡会は設置していない。連携をとる案件が発生した場合は、関係課や担当者を集めケース会を実施する。

国税に続き地方税においても猶予制度が改正され、来年4月施行に向けての準備が必要となる。以下問う。

**問** 徴収猶予、換価の猶予、滞納処分執行停止の状況は。

**Q 地方税に「換価の猶予」**

**A 調査確認がしやすくなる**

**近藤浩伸収納課長**

**答** 3年間のデータは徴収猶予0件、換価の猶予0件、滞納処分の執行停止24年度289件、25年度115件、26年度139件である。

**問** 申請による換価の猶予制度が併設された。見解及び今後の準備は。

**答** 申請による換価の猶予が始まることで、猶予条件等の調査確認がしやすくなる。考える。

今後、国や県、近隣の市町村の動向を見ながら取り組んでいく。  
**問** 地域の実情に配慮し、条例制定が必要となる。見解は。  
**答** 近隣の市町村の動向を見ながら内容を精査していく。



**Q 有害獣捕獲にICTを**  
**A 檻の導入を計画**



鳥獣対策について、以下問う。

**問** 昨年度の鳥獣被害・捕獲実績など、被害防止に関する補助金の支払い概算は。

佐々木寿幸産業振興課長

**答** 昨年度の有害鳥獣捕獲報奨金は3531万7千円、被害防止柵は472万3千円である。

**問** 昨年度に捕獲したニホンジカは2543頭であった。そのうち食用としての頭数は。  
**答** 平成26年度べふ峡

温泉で食用に供されたものは、A品（ステーキ、から揚げ、串かつ用）966・4キログラム、B品（ミンチ）168・5キログラム等で76頭となっている。

**問** 長野県塩尻市では、鳥獣被害対策に情報通信技術を導入し、駆除対策を効果的に実施している。本市の対応は。  
**答** 既に光石の市有檻ではICT技術を利用してしている。本年度購入予定のサル用捕獲檻でも、一定数のサルが檻に入ると自動で扉が閉まる、ICT技術を活用している。  
 ※ICT（インフォメーション・コミュニケーション）＝情報や通信に関する科学技術の総称



樹皮を剥がれた植林

**Q 「代理受領」にきかないか**  
**A 他自治体の動向を注視して**

**問** 県は南海トラフ地震対策として、木造住宅の耐震設計・工事に対する補助金を、事業者が自治体から直接受け取る「代理受領」を進めている。これまでは、施主が工事費全額



を一旦構える必要があったが、この制度になれば、実際に係る費用と補助金との差額を準備すればよく、工事に踏み切りやすくなる。本市の対応を問う。

岡本博章防災対策課長

**答** 県及び他市町村の動向を注視しながら検討する。

### Q コミュニティ・スクール

#### A 将来全ての学校を指定



比与森光俊 (公明党)

であり、現在研究中である。

山田小学校も研究を始めようとしており、各校が順次研究を進めていく。

平成31年度末までに5校以上、将来は全ての学校を指定したい。

制度に対する肯定的な意見が多い中、警戒心や不信の声もある。制度に対する見解は。

【答】平成28年4月に片地小学校、平成29年4月に大栃小学校・大栃中学校を指定する計画

時久恵子教育長

【問】全ての小中学校にコミュニティ・スクール指定を望むが、各校の現状と今後の取り組みは。



片地小学校

【答】コミュニティ・スクールは、学校と地域が協働で子どもを育てる仕組みである。学校運営協議会が中心とな

って、多くの方が子どもたちの育ちに関わるようになり、各校で特色ある取り組みが展開されるようになる。

子どもたちが豊かに育つと同時に、地域の活力もますます高まると思われる。できるだけ早く、全ての学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校と地域が一体となった取り組みを進めていきたい。

### Q 介護福祉現場の環境改善を

#### A セミナー等の開催は可能



森田雄介 (日本共産党とくらしと福祉を守る会)

題の解決と人権尊重の社会づくりに寄与する

目的に結成された組織であり、質問の協議組織にはなり得ない。

しかし、医療・施設等部会があることから、セミナー等の実施要望があれば来年度以降、

【問】緊急時に備え、施設職員が市内に在住しているメリットは大きい。空き家バンクの賃貸等ができないか。

【答】福祉施設等で働いている方でも、本市への移住を希望される場合は、空き家バンクの利用が可能である。

横山和彦まちづくり推進課長

【問】緊急雇用創出臨時特例基金事業による雇用実績を問う。

【答】平成25年度30人、平成26年度9人である。

【問】介護・福祉現場の環境改善に、香美市企業等人權啓発連絡会の力を借り、セミナー・ワークショップ等が開催できないか。

久保和昭生涯学習振興課長

【答】香美市企業等人權啓発連絡会は、人権問





Q 何を教訓とするか

A 判断と行動である

問 1人の死亡者も出さなかった「口永良部島」の避難行動から得るものは大きい。この教訓を本市にも生かすべきではないか。

岡本博章防災対策課長

答 屋久島町の災害対策本部が的確に発令した避難指示等の判断と島民の手際良い避難行動により、1人の犠牲者も出さなかった行動力は見習うべきである。

問 家具転倒防止の周知や取次ぎについて、自主防災の活動の一つとして取り組めないか。

答 自主防災組織等のご協力をいただき、家具転倒防止対策事業の積極的な活用を推進を行いたい。

問 組織ができて、高齢化や地理的条件等のため「自分たちの自主防災では難しい」との声も聞く。市の援助が欠かせない。対応を。

答 補助事業等を活用した従来の取り組みを継続しながら対話を深め、活動しやすい組織になるようにサポートする。

Q 市営住宅の選考は公開抽選で

A 調査検討したい



小松 孝 (市民クラブ)

市営住宅への入居希望者から「何回申し込んでも入居できない」と聞いた。以下問う。

問 市営住宅入居者選考委員の構成は。

柳本隆司管財課長

答 学識経験者、市議会議員、関係行政機関の職員で構成されている。

問 選考委員会は、あまりに密室での審議であり、市民には不信任感がある。見解は。

答 申込者には申込の際に選考方法について説

明しているので、ご理解をいただいていると思う。選ばれなかった申込者のご意見については真摯に受け止める。

問 入居申込者への聞き取り調査は、全て平等かつ客観的に行われ、選考委員に報告されているか。

答 申込者の情報は、十分選考委員会へ報告できていると考えている。

問 選考委員には、事前に入居申込者の情報を渡しているか。

答 選考委員会当日に委員に配布している。

問 選考委員会で、複数から1世帯を選考するのが難しい場合は。

答 申込書に記載された内容や聞き取りした内容を審査・協議し、より住宅に困窮する度



市営住宅・黒土2号団地

合いを判定し、優先順位をつけている。

問 住宅困窮度が同程度の場合、公開抽選により、入居者を決定してはどうか。

答 現行の条例では、入居者の最終決定は抽選で行えない。近隣自治体の事例等を調査し検討したい。

Q あげぼの街道に道の駅を

A プランを熟成していくべき

問 あげぼの街道沿いに道の駅を併設した直販店の建設を望む。これまでどのように検討されてきたか問う。



佐々木寿幸産業振興課長

**答** あけぼの街道は将来的に本市の主幹線道路になると考えている。

この道路沿いに観光・

交流の中心施設として

道の駅を立地する構想

は、かねてから一つの

夢として語られてきた。

現時点では都市計画

道路整備や両支所の建

築等のハード事業を推

進しており、全国平均

値で事業費約6〜7億

円を必要とされる道の

駅建設については、財

政面を含め具体的な計

画はできていない。

**Q 「健康づくり」手続きを簡単に  
簡素化は考えていない**



濱田百合子  
(日本共産党とくらしと福祉を守る会)

健康づくりは「自治

体の積極的な取り組み

み」と「住民の健康意

識の高まり」が必要で

ある。以下問う。

**問** 「健康づくり地域

ネットワーク推進事

業」の申請書類の簡素

化を。また、この事業

の継続を。

**中山繁美健康介護支援課長**

**答** 当該事業等が適正

に実施されているかど

うかを精査する必要があるため、記載方法を

簡素化することは考えていない。

今後も住民の健康づ

くりと地域のネットワ

ークづくりのために、

この事業を継続してい

く。

**問** 「健康センターセ

レネ」の利用料金を下

げて集客につなげては

**答** 本市の健康づくり

3団体等に積極的に利

用を呼び掛けるととも

に、パンフレットと割

引券を配布している。

**問** 利用料金を下げるよ

りは健康増進施設とし

て積極的にPRをして、

利用者の増加につなげ

たい。

**問** 高齢者の心の健康

のために、気軽に集え

る施設が必要である。

香北の「老人憩の家」

は有効に活用されているか。

**答** 現在は、児童クラ

ブ・日本画教室・躍り

の会などが利用してい

るが、児童クラブの移

転に伴い、来年1月か

らは老人のレクレーシ

ョン等の場所として有

効活用される予定であ

る。

**問** 市の花「あじさい」

の手入れ方法は。

**野島恵一香北支所長**

**答** 支所が関わり行っ

ている手入れは、開花

時期の下草刈り、花の

終わりの剪定及び肥料

まきである。

**問** 手入れをする人材

は。

**答** 剪定についての人

員は確保されている。

下草刈り等について

は、ボランティアの方

がでなくなってきた

いることもあり、次年

度以降は予算要求等を

検討する。

**問** 専門家の指導を仰

いで。

**答** どのような育成管

理がよいか、専門家の

指導を仰ぐことも含め

検討する。

**問** 国道沿いの観光案

内板の検討を。

**答** 観光案内板につい

ては、設置当時のまま

現在に至っている。通

行される方の目にふれ

るものなので、老朽度

を見て撤去、書き直し、

新設等検討する。

**問** あじさいロードの

アピールに香美市の

キャラクター「あじさ

いひめ」の活用を。

**答** 案内板等を新設す

る際は、香美市イメー

ジキャラクターを取り



あじさいロード（香北町）



川上様の天井絵（香北町）

本市は、漫画家発祥の地・居住の地である。漫画を通して一つの文化を創ることは必要ではないか。漫画家を希

久保和昭生涯学習振興課長  
**答** 現在、子どもたちを対象にアニメーション体験を中心に漫画教



村田珠美 (自由クラブ)

望する市民と若者誰もが学べる教室の開設について以下問う。  
**問** 漫画家として、仕事に生かせる漫画教室を開設しては。

**Q** 漫画教室の開設を  
**A** 要望の高まりなどを見極めて

室の実施を予定している。一般を対象にした職業に関係できる漫画教室の開設は予定していない。今後、市民の要望の高まりなどを見極めて検討する。  
**問** 商店街の活性化にもなると思うが、空き店舗を利用してはどうか。  
**答** 今後、具体的に漫画教室の開設となれば、関係者と協議する。

**Q** 「みんな笑顔で交通安全」  
**A** 積極的な活用を図る

交通安全について以下問う。  
**問** 自転車運転で悪質な交通違反を繰り返した人に、有料の安全講習の受講を義務付ける改正道交法が6月1日から施行された。「自転車教室には点検済みの自転車で」と指導を。



交通安全広報車

岡本博章防災対策課長  
**答** 自転車教室前に行う事前点検は、保護者や教職員等に対して指導及び協力依頼を行い、交通安全意識の向上に努める。  
**問** 2012年に作詞を香長小学校の児童、作曲を豆電球さんが担当した「みんな笑顔で」という交通安全の歌が作られた。

今後広く市民の交通安全啓発に活用してはどうか  
**答** みんな笑顔で交通安全を守るまちづくり推進のために、香美警察署等の関係機関と連携しながら、交通安全教室や各種イベント等の実施時には積極的な活用を図る。

本会議をライブ中継や録画で見れます

「香美市ホームページ」から「香美市議会」をお選びいただき、「議会中継・傍聴」の「議会中継(外部リンク)」をクリックしてください  
<http://www.discussvision.net/kamisi/index.html>



### Q 安全保障法制を問う

A 丁寧の説明し、議論をつくして



大岸 眞弓  
(日本共産党とくらしと福祉を守る会)

問 民主主義の根幹に関わる問題として問う。

集団的自衛権の行使を盛り込んだ安全保障法制は、衆議院の憲法審査会で与党の推薦を含む参考人全てが「集団的自衛権は違憲」と断じている。

答 中国など周辺国の動向からして、国の守りについて国会でしっかり議論することは重要である。国には国民の安全を守る使命があり、法律や原則の整備を進めるとは当然であるが、集団的自衛権行使可能とする憲法解釈は、国民的理解までには至っていないと考える。

の成立に反対」の声が多い。本法案に対する市長の見解は。  
法光院晶一市長

問 立憲主義の否定につながる。法案は撤回するしかないのでは。  
答 政府は法案を丁寧に説明し、議論を尽くして国民が主体となり考え判断できるようにしなければならないと考える。

### Q ヒアリング・ループを窓口

A 設置に向けて努力したい

問 70歳以上の半数の高齢者が、年齢と共に聴力の衰える老人性難聴だと言われている。補聴器も適正に使用している人は少ないのではとの専門家の指摘がある。

難聴者の方は外出や人との対話をためらいがちになり、不便を来すことも多い。

市役所のカウンターに「聞こえ」を助けるヒアリング・ループの備えができないか問う。  
柳本隆司管財課長

答 難聴者のケア、庁舎のバリアフリーという視点からも関係課と協議検討を行い、設置に向け努力したい。



### 訂正とお詫び

議会だよりの前月号(第37号)に、記載ミスがありました。訂正をして、お詫び申し上げます。

① 8ページ5段目、教育厚生常任委員会の参加委員に、千頭洋一議員の名前が抜かっておりました。

② 9ページ1段目、視察先の中学校名の漢字が間違っております。

正 塩町中学校  
誤 汐町中学校

### 編集後記

日頃は「議会だより」をご愛読いただきありがとうございます。

月日が過ぎるのは早いもので、来年香美市は合併10周年の節目の年を迎えます。記念すべき年のイベントがわくわくドキドキの、実り多いものになればと思います。

さて、編集委員となり今号で3回目です。編集委員会では割り付けをし、自分の割り当ての仕事をします。

なかなかない私は悪戦苦闘しています。完成した議会だよりを見ると嬉しくなります。少しでも分りやすく、読みやすい記事として、皆様にお届けできるように頑張っていきます。38号が皆様のお役にたてますように……

村田 珠美